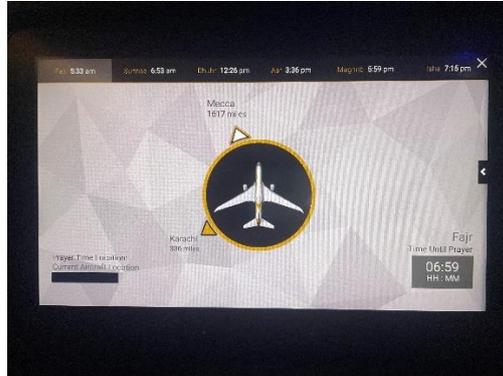


多文化共生海外派遣研修（UAEコース）の様子①

10月29日（日）

今回はエティハド航空で行きました。UAEの国営航空会社なのですが、モニターにメッカの方角と礼拝の時間が表示されることから文化の違いを感じました。



到着は現地時間の夜11時でした。私たちの研究テーマである国旗に出迎えられ、いよいよUAEでの研修が始まります。



10月30日（月）

研修の最初のプログラムは、日本国大使館への表敬訪問からスタートしました。セキュリティの関係上、写真を撮ることはできなかったのですが、磯俣大使からは新しいことにチャレンジする大切さを教えていただくとともに、UAEでの研修について激励の言葉をいただきました。職員の方々からは、大使館業務の内容についても教えていただき、UAEと日本がどのように友好的な関係を築いてきたのかを学びました。

予定していたカスルアルホスンには入ることができなかったのですが、近隣の施設で地元の工芸品を鑑賞し、デザートとともにアラビックコーヒー（カルダモン等の香辛料の入った浅煎りのコーヒー）をいただきました。



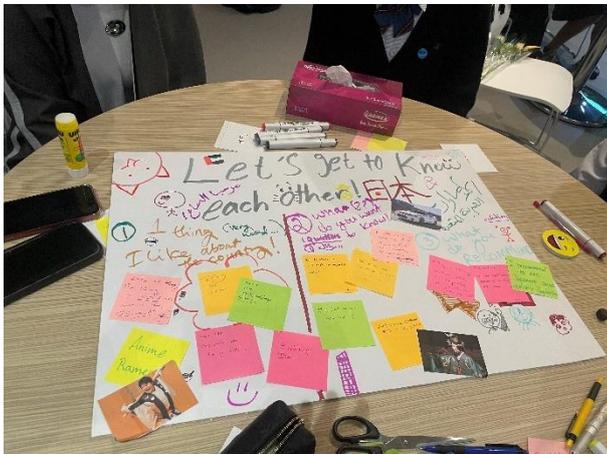
午後は教育省へ行き、学生たちと交流をしました。今回交流したのは、交流プログラムで日本へ行ったことのある学生たちです。日本の文化に興味をもち、日本のことをとても好きだと話してくれました。

日本の生徒たちは、初めて UAE の学生と話すため、非常に緊張していました。



交流の始めにアイスブレイクをしました。日本の生徒がアルファベットのカードを持ち、UAE の生徒がアラビア文字のカードを持ち、声を掛け合って、同じ読みの言葉だったら同じグループになるという活動でした。

いろいろな場所で歓声が上がリ、あいさつの声が聞こえ、緊張感が一気にほぐれた様子が伝わりました。



グループでは、お互いの国で好きなもの（こと）は何かについて話し合う等して、理解を深めました。そして、力を合わせてボードにまとめて発表をしました。

笑顔で互いの国の好きなことについて話す姿は、とても楽しそうでした。笑顔で来日した際の写真を見せてくれたり、日本の食べ物や文化が好きだと言ってくれたりしたことは、生徒たちにとって驚きであるともうれしかったらうと感じました。



UAE の公用語はアラビア語ですが、人口の 9 割が外国人であるため、日常的に英語を使用します。学生がとてもきれいな英語で自信をもって発表する姿に、日本の生徒たちは刺激を受けたようです。発表後には、手作りのお菓子でおもてなししてくれました。

帰りにはお土産を交換し、一緒に写真を取るなどして、すっかり仲良くなりました。

終わってから生徒に感想を聞くと、現地の学生と一緒に活動したのはとても楽しかったという答えが返ってきました。一方で、英語がもつとできれば、話すことを深く理解できるのという思いを抱いた様子が見えました。

活動初日に感じたことは、UAE は本当に平和で治安のいい国だということです。夜、女性が歩いても問題ないという話を聞きましたが、夜 1 2 時過ぎでもなんの不安もなく外を歩いている姿を見ました。また、日本のことを好きな人が多いという話を様々な場所で聞きます。実際に話をする人たちは本当に温かく迎え入れてくれます。

明日は、現地の高校生に向けて、英語でプレゼンテーションを行います。準備してきた成果を発揮できるように頑張ります。